

第 270 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 7 年 9 月 9 日（火）開催 会場：Tech Hub Yokohama 】

1. 株式会社BIOTECHWORKS-H2 代表者 西川 明秀 氏 (<https://biotechworks.co.jp/>)

【住所】東京都渋谷区渋谷 6-18-3 神宮前エスビル 6F 【設立】2023 年 7 月 【資本金】46,000 千円

【事業概要】 廃棄物から水素、水素から再生可能エネルギーへ「ゴミ ZERO プロジェクト」を行っています。全ての有機性廃棄物を対象に自社開発の前処理工程を行うことで、ガス化溶融炉での水素生成率を最大限に引き上げ、次のエネルギーへ転換する全体スキームの構築、および生成された水素量や CO2 削減量などが可視化されるプラットフォームを提供しています。

【特色】 多くの自治体が抱えている「廃棄物処理費用の負担」、つぎの世代へつなぐ鍵「水素社会の実現」この二つの課題に対し、当プロジェクトが安く安定的に手に入る廃棄物を原材料とし、生成した水素を地産地消で次のエネルギーに転換することで利益を生むごみ処理施設として 25 年後のスタンダードを実現しようとしています。

【今後の展開】 来年より建設開始する商業化へむけた実証実験にて廃棄物の分析・水素化・再エネ化までの全工程を行い、商業化へ向けて本格的に移動します。国内だけでなく海外でごみの埋め立て処理を行っている国に対し事業展開を進めて参ります。

【コメント】 現在、水素のほとんどが太陽光から作られており、コストが高い（ガソリンの 10 倍くらい）というのが問題点です。その中で同社が選ばれる理由としては、①無機廃棄物をスラグ化し、ゼロ廃棄達成、②廃棄物をガス化し、低コストで水素発生、③「REBORN」プラットフォームトレーサビリティを提供し、可視化することが出来るという 3 つのポイントがあるからです。今後は、焼却炉立替検討中の自治体や事業会社、廃棄物の埋め立てが深刻化している東南アジアを対象にしていくとおっしゃっていました。将来的には IPO も視野に入れておられるそうです。

2. 東京精密発條株式会社 代表者 大西 貴子 氏 (<http://www.to-hatsu.co.jp/>)

【住所】神奈川県横浜市都筑区東方町 134 【設立】1953 年 6 月 【資本金】15,000 千円

【事業概要】「“曲げ”の常識を変えちゃいます」

弊社は 1953 年にバネ製造会社として設立し、培ってきた「経験」と「技術」そして「アイデア」を“バネ”に現在では自社製品を開発・製造しています。工作機械に内蔵される装置を開発、その後お客様の声や自社製品の製造過程での“キズ”解決に挑戦し新たな製品としてプレスブレーキ用の下金型「ウイングバンドプラス(WBP)」を開発。この製品の機構は特許も取得しており、バネ製造の知識や技術を活かし“キズ”以外にも板金加工時の課題を一気に解決する金型となっています。お客様から喜びの声や海外での販売実績も積み重ねており、お客様の工程削減・生産性向上を後押しする製品としてより多くの方に知って頂けたらと思っています。

【コメント】 工作機械は「機械の原点」と呼ばれ、ものづくり現場において最初に使われる機械のこと。同社ではその工作機械に内蔵されている装置を開発し、ものづくりを支える役割をしています。医療機器メーカーや自動車メーカーは傷がつかないこと、工程改善や工程削減を期待して、「ウイングバンドプラス」の導入を決めたそうです。大西社長は「これからもお客様の問題解決に向けた『新製品開発』への挑戦を続けていきたいので、ものづくり現場での「お困りごと」や「こんなのがあったら良いな」というご相談がありましたら、是非、弊社にご相談して欲しい。一緒に未来のイノベーションを起こしましょう」とおっしゃっていました。

3. 株式会社ハマ 代表者 金田 政太 氏 (<https://www.hamakk.jp/>)

【住所】福島県南相馬市原町区萱浜巣掛場 45-245 【設立】2025 年 1 月 【資本金】1,000 千円

【事業概要】 弊社は、世界に類を見ない水上離発着可能な飛行艇型航空機をはじめ、様々な無人機の開発・製造・ソリューション提供を行っているディーブテック・スタートアップです。

福島県原発被災地の復興施策の 1 つである「イノベーション・コースト構想」に共感し、福島県南相馬市に本社を据えると共に、横浜市の三菱重工 横浜製作所構内にある Hard Tech Hub の研究開発センターにて、約 20 名のエンジニアが開発に従事しております。設立以来、長年蓄積してきた無人機開発能力が認められ、現在は安全保障や災害・気候変動に関連する省庁・企業・アカデミアから数多くの問い合わせや受注を頂いております。

事業が急拡大する中、モビリティ関連の設計・開発実績を有するエンジニアを積極的に採用する必要があります。コーポレート系の専門家も今後必要になります。こうした課題を神奈川県内、横浜市内に居る様々な関係者様等と連携して一つずつ解決し、2030 年代にはユニコーン企業になるべく、成長を続けていきます。

【コメント】 金田社長は宇宙ベンチャーの立ち上げに参画した後に同社を設立。同社のビジョンは安全保障や防災において、無人機の技術ニーズが高まっているので、『未来を守り、可能性を拓く』ことを掲げております。今回はモビリティ関連の開発実績を有するエンジニア採用に関するご支援を求められておりました。



【感想】 今回の発表会は全てテック系企業で、皆さんの関心も高く、ここ数年の開催の中では参加者が最も多い発表会となりました。発表企業同士でも盛んな交流がされておりました。

どの発表企業も各々の分野でイノベーションを起こし、新しいマーケットを構築されようとしていて、今後の展開が楽しみです。もし発表をご希望とされる方がおられましたら、お早目にお申し出を頂きますと幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆
第 271 回 MINERVA ビジネスプラン発表会■日 時：令和 7 年 10 月 14 日（火）13:30～15:00
■会 場：Tech Hub YokohamaNPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード
(株)TNP スレッズオブライト 井 汲 美 樹